

利用成果報告書

- 1 課題番号 R2-021
- 2 報告者 國枝武和 東京大学大学院理学研究科生物科学専攻
- 3 利用区分 成果公開有償利用
- 4 利用課題名 脱水にตอบสนองして可逆的に線維化するクマムシ固有のタンパク質の乾燥耐性への寄与の解析
- 5 使用装置名 プレートリーダー ARVO X5
- 6 利用期間 令和 2 年 11 月 25 日 ~ 令和 3 年 3 月 31 日
- 7 利用成果・
実績の概要 線維化タンパク質Drp1の発現依存的にヒト培養細胞の高浸透圧耐性が向上した。
Drp1の線維化が耐性に重要なメカニズムであることが示唆された。
- 8 社会・経済へ
の波及効果 本研究により乾燥耐性の分子メカニズムの一端が明らかになった。乾燥耐性メカニズムの解明はバイオ医薬品や有用細胞などの凍結
乾燥保存への応用が期待される。
- 9 学会等における口頭・ポスター発表 該当なし
- 10 学会誌・雑誌等における論文掲載 該当なし